



江城日誌
第六

西垣文庫 持
文庫 10
7292
6



特 文庫10
7292
6

太政官 翻
刺頒行本

西垣文庫



江城 日誌第六號

慶應四以辰年五月十七日

五月十六日

○肥後より御届之写

當藩隊湯島モツナの黒門江進撃候様被 仰付候間
湯島モツナの不忍池端黒門前へ進撃夫より分隊仕
一隊ハ上野南手下谷ノ山内へ乗入一隊ハ上
野北へ進入仕候此段御届仕候

五月

源手トク 高山 秋 藏

千田四郎右衛門

足輕 薄手 高野庄 藏

右昨日戰爭之節手疵追外小者至追死傷無御座候以上

五月

肥後隊中

○肥前より御届之写

昨十五日上野賊徒御誅伐付戰爭之次第且戰死等左之通御座候此段御届仕候

一大炮二門

右者富山屋鋪相備同所上野黒門口臺場

并堂柵松藪之内等相備居候賊徒打拂且弁天島相掛り泰候賊徒之儀ハ小銃と以打拂候一小銃隊

右ハ最前御割付之通本郷辺々攻入り坂辺あり苦戦候得共同所之儀長州其外兵士込合候付手と分二十人程黒門口山内へ薩州其外一同乗入候

討死 宮崎代助 中地藤太 手負 高岸文八

以上

五月十六日

○長州より御届之写

日

夫方一人

肥前侍従内

吉村 謙助

戦死之部

嚮導

佐藤左武郎

日

生瀬清見

久山 壽太

池永小五郎

原 席之助

深手陣營之而死

内山久之進

深手之部

椋木直人

田中平九郎

永井 席藏

大庭佳藏

佐藤辰三郎

右過^ル十五日戦争出入數戦死手負前書之通
御座候以上

五月

長州藩

○筑後より御届之写

一 昨十五日攻口之儀千駄木坂下、而長州勢苦
戰之体、御座候間横合、應援之心得、而發
炮仕候
振津権現之北、而森際、賊小銃打出候付、發炮
仕候、震深樹之内、入何、江、欽、退散仕候
一 右同日攻口之儀被、仰渡之通富山屋敷より
四、半頃迄放炮仕居候、震表門防戰堅固付敵之
真横、打立候様御使番、御差圖御座候付、茅
町池之端、轉陣仕形勢見計打込申候、尤小銃、

兼而銘、手當仕罷在候付、手隙より連發仕候

一 昨十五日金座警衛、弊藩人數十住、迄巡邏仕

候、震殘賊炮鎗之隊伍相備、凡三十人計、突出弊

藩之巡邏見掛、發炮仕候、付此方、發炮仕候

二 付賊退散仕候

一 昨十六日護國寺へ出兵仕候様、御沙汰御座

候、得共金座へ繰出置候兵隊之内、直、出兵仕候

付、少、及、遲、刻、候、震、最、早、殘、兵、無、之、由、而、諸、兵、隊

孰、引、揚、申、候、右、期、後、候、儀、殘、念、之、餘、同、所、

踏、込、吟、味、仕、候、内、前、町、人、家、罷、在、候、賊、勤、仕、並、

寄合加藤下総守潜匿仕候付主從討留申候
一右兩日戦争戦死手負左之通

土田清摩隊

手負 栗原 文司

上田兵次郎隊

討死 服部金三郎

右之段御達申上候以上

五月十七日

後

有馬 藏人

○大村より御届之写

上野屯集之賊為討手大下馬江相揃五字出陣

水道橋々本郷通如州邸、繰入半隊、根津惣
門々突戦半隊ハ水戸邸へ出たハ坂手前伏兵
之賊と戦争暫ク地形悪敷付根津権現堂へ
引揚小队相會一問も無く同所門前寺院へ屯
集之賊と相戦夫々谷中干駄木町江坂辺、
おわく始終戦争追々相鎮上野黒門山門木相
敗其手へ進候藩々既々引揚候趣相聞候付諸
藩申合六字頃巡邏相勤引取候事
一手負左之通

半隊長

宮原 俊一郎

右之通御座候以上

五月

○備前より御届之写

深手首 兵士

伊達守之助

薄手首

根岸貞平

大村

渡辺清左衛門

半大隊司令官

太田万治

斥候役

平井源八郎

討死

同

同

銃隊

伊原儀左衛門

内藤惠三郎

尾関久五郎

大砲隊司令官

三上留吉

疵三ヶ所

内股三ヶ所 内上所為摺貫疵
外陰囊一ヶ所 為摺貫疵
羽織四ヶ所

右小銃疵

銃隊

妹尾卯太郎

同九ヶ所

内頭上一ヶ所
右手二ヶ所
左手一ヶ所
右刀疵
陰囊一ヶ所
左右股四ヶ所
右餘疵

同一ヶ所
左手浅疵

同一ヶ所
右手浅疵

同一ヶ所
左鬢浅疵
右三名共小銃疵

同 松田松三郎

同 片山言一

同 山本弥太郎

右者上野おろく戦争之節討死并手負之者共

御座候此段御届申上候以上

五月

備前侍徒内

薄田兵右衛門

○佐土原より御届之写
上野ニ而戦争之節

半隊令官

戦死 能勢惣之進

右之通御座候以上

五月

佐土原藩

○紀州より御届之写

紀藩兵士

右十五日戦争之節討死仕候
龜井卯吉

島本龜右衛門

右同断之節手負申候

山崎熊八

右同断之節何_レ也_レ而討死仕候哉相知不申
色_レ探索仕候得共未相分不申候

右之通御座候以上

紀藩隊長
和佐類之助

五月

五月十六日之記事未餘りありて尽_レか_レば_レより猶第七号之續出也

官版
不許翻刻

御用御書物所

東洞院三條上町

村上勘兵衛

堀川二條下町

井上治兵衛

